

**花巻市東和地域協議会  
平成23年度第2回会議記録**

日 時	平成23年11月8日(火) 13:30~15:30							
場 所	東和総合福祉センター 大ホール							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	会 長	小原 宏	○		委 員	菊池 元子		○
	副会長	吉田 英雄	○		委 員	猿舘 祐子	○	
	委 員	浅沼 幸雄	○		委 員	菊池 三恵	○	
	委 員	小川 洋征		○	委 員	平野 広		○
	委 員	平野 保	○		委 員	門馬 優子		○
	委 員	赤坂 学	○		委 員	藤井 公博	○	
	委 員	多田 啓紀		○				
出 席 者	東和地域各コミュニティ会議 あすの小山田を考える会 副会長 赤井英雄 土沢地区地域づくり会議 副代表 藤根悦実、理事 及川秀雄、理事 小川力男 成島地区コミュニティ会議 会長 小原君雄 浮田地区コミュニティ会議 副会長 菊池隆耕、副会長 平野栄治、事務局員 平野敬 東和東部地区コミュニティ会議 副会長 小原秋雄、事務局長 薄衣健 田瀬地域コミュニティ会議 事務局長 佐藤松雄							
出席職員	東和総合支所 支所長 赤坂謙 地域振興課 課長 多田潤、課長補佐 藤根幸生、地域づくり係 係長 伊藤潤、主査 伊藤精一、主任 新田正幸 市民サービス課 課長 藤井正昭							
傍聴者	0名 (うち報道機関0名)							

1 開会 (司会：藤根課長補佐)

2 会長あいさつ

お忙しいところお集まりいただき、大変ありがとうございます。東和地域協議会委員と東和地域コミュニティ会議役員の皆様と一緒に懇談会を進めさせていただきます。本日の会議の目的は、東和地域の諸課題について、どのようなことがあるかの掘り起こしでございます。皆様からご意見を賜りまして、地域協議会としてどのように取り組んでいけるかということが主眼でございまして、課題の提起ということで結論が出るものではないことだけ申し上げたいと思っております。ざくばらんに話をさせていただいて、地域協議会としてどのような方向に今後進んで言ったら良いか、ということの糧にしていきたいと考えております。その地域課題がどのようなことがあって、どのようにしていったら良いか、皆様と協力しながら今後生かしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

3 出席者の紹介 (多田課長)

私の方から本日までご出席の皆様をご紹介させていただきます。（省略）

#### 4 懇談会の進め方について（多田課長）

開催要項にもお示ししておりますように、あらかじめ地域協議会から提示しました課題、及びコミュニティ会議から提案いただきました課題について協議していただくということでございます。コミュニティ会議からは今回課題は出ませんでしたので、地域協議会から次第にもございますように4つテーマをいろいろ協議していただきたいということでございます。やり方につきましては、まずコミュニティ会議の皆様からご意見を伺って、その後に地域協議会の皆様からご発言をいただくという方法で行って参りたいと思います。皆様からいろんな発言をいただきまして、その意見を集約いたしまして、先ほど会長のご挨拶にございましたように、東和地域の共通課題の掘り起こしができればと思います。また、先ほどお話がありましたように、今日は結論が出るものではございませんので、いろいろと協議いただきながら課題の共有という形で進めたいと思います。なお、懇談会の時間につきまして、おおむね2時間以内ということでお願いいたします。以上、私の方から進め方についてご説明いたしました、今後の進行につきましては、本日の座長を地域協議会の小原会長さんをお願いいたします。

#### 5 意見交換

##### 懇談課題 (1)高校跡地利用について

小原会長	ただ今ご紹介いただきました東和地域協議会の小原でございます。意見交換の座長を務めさせていただきますので、皆様方におかれまして円滑な進行にご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。それでは早速、地域課題に対する意見交換会ということでお願いしたいと思います。皮切りといたしまして、皆様にご提示しておりました懇談の課題の（1）高校の跡地活用について、これについて、皆様からご意見を賜りたいと考えてございます。高校の跡地活用につきましては、いろんな方面からいろんなご意見もありまして、いろんなことで動いているようでございますので、現況につきまして、地域協議会の事務局長（多田課長）さんの方から、現況はこうなんだよということについて、わかる範囲でご説明をお願いできればなというふうに思います。よろしくお願いいたします。
多田課長	それではですね簡単にと申しますか、面積等十分把握してございませんので、ちょっと説明不足になるかと思いますが、現在の状況と申しますか概観で申し上げますと、ご存知のとおり旧東和高校につきましては、22年の3月に閉校になってございます。創立が昭和23年の4月1日ですから60有余年の歴史があったというふうに聞いてございます。その間多くの卒業生を輩出しまして、地域の発展に多大に貢献されたということになってございまして、現在はご承知のように学校の跡地といたしましては、教室棟はじめ体育館、グラウンド、更には合宿所などがそのまま残っているという状況でございます。実際の管理等につきましては、花巻北高等学校に事務を置いているということで、電話で照会いたしましたところ、今どのように活用されていますかというお話を聞いたところ、グラウンドと雨天の練習場は、野球関係等子供たちに一時的な使用を許可していますが、その他建物関係いわゆる教室とか体育館とか合宿所については、一切貸し出しはしていない。というふうな状況でございます。件数等は詳しく聞きませんでした、いずれにしても

	今はグラウンドと雨天練習場は貸すけども、ほかの施設等は貸していないというような説明がございました。以上でございます。
小原会長	ありがとうございます。それではですね、今説明があったわけですが、高等学校の跡地についてどのような方法で活用していった方が良いのではないのかな、というふうなご意見がございましたならば、ご発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。
(浮田)平野事務局員	その前にちょっと質問でございますが、貸していないというのは、管理上申し込みがあっても貸せないということでしょうか。それとも借りる方がいないということでしょうか。
多田課長	そこまでは確認してございませんでした。利用していないということでございます。
(浮田)平野事務局員	申し込めば貸してくれるということですか。
多田課長	それはわかりません。
小原会長	いずれにしても、高等学校は岩手県の設備なので、花巻市には情報が入って来ないのではないのかなという感じはしておりますが、どなたか詳しくわかる方おられませんでしょうか。どなたか情報を持っている方があれば非常に助かるなというふうに考えるところでございますが。
赤坂委員	グラウンドに関しては、花巻のリトルリーグが借りて使用しているのと聞いておりました。
小原会長	岩手県のものでありますから、あまりこちらの方でとやかく言ったって始まらないのかなという感じもしますが、ただあそこに建物がある限りは、少し有効利用した方がいいのではないかなというふうな感じもするんですよ。耐震強度もバッチリなそうでございますし、旧小学校よりも立派な建物でございますので、そのへんあたりどのように利用したら良いかご意見等あればなど。誰か借りてくれる方がいないのかな、というふうなこともございますが、いずれ有効利用が一番だろうと思っております。
吉田副会長	過去に、地域協議会でも議題の中に出たことはありますし、ただ確たる目的はこういうものであるべきだというものはないです。先ほどお話に出ましたリトルリーグにグラウンドを貸している。それからテントと言いますかハウスの方は、冬季練習所として子供たちに使わしている。そういうことだけで特にこういうものだというものは全くありませんので、県の方では市の方に無償譲渡ではないけども、使用目的があれば使っていいという話はしたということは聞いておりますが、市の方でかつての花巻南高校跡地のように、まなび学園的なものという案もないということでもあります。私個人としましては、しっかり耐震対策もやっているものでもありますし、学校法人的なものをぜひ誘致してほしいなという思いは十分あります。東和というのは非常に人脈を持っておりますので、そういう情報を駆使しながらそういうものに将来結び付けられれば良いのではないのかなと、町にも活気が出てくるのではないのかなという気がしております。これはあくまでも私見でございますが、あとはコミュニティ会議の方々から何か具体的なものがあれば、地域協議会でも話題にして生かされれば良いのかなと思っております。
小原会長	本日もご出席の皆様にお願ひがあるのですが、やはりこのことにつきましても、具体的に何かしらの動きがあった方がいいのかと、花巻市さんを通して

	<p>県に働き掛けるということが必要ではないのかな、というふうに感じられますが、この辺あたりはいかがなものでしょうか。地域協議会を通して岩手県に働き掛け、何かしら花巻市さんの方で使ってもらえるような方向で、考えていただけないかということをごすね、皆様からご意見があればそのように動いておきたいと考えておりますが、その辺あたりのご意見はいかがでしょうか。</p>
藤井委員	<p>今後、東和地域全体であるその有効活用について何か検討することを思い巡らした時に、各地区で小学校跡地をどうするかで手いっぱいなんです。あらためてあそこどうしようかという考えはなかなか難しいんじゃないのかな、というような感じがします。ただ、体育館とか共通で使えるものについては、検討の余地はあるかもしれませんが、全体をどうしようかというのなかなか思い巡らすこと自体、余裕がないという気がしますが。これは私の意見でございます。</p>
小原会長	<p>それでは、これにつきましてはご意見が無いようですので、今後の課題ということにして一旦、これにつきましてはまず課題の一つであるということだけの認識の程度としておきたいと思っております。これ以上話が進むということにはないということでございますので、よろしくお願い申し上げたいと思っております。</p>

懇談課題 (2)自主防災組織について

小原会長	<p>それでは、懇談課題(2)の自主防災組織についてご提案しておりますので、これにつきましても事務局長さんから現状をまずお話を聞きたいと思っております。</p>
多田課長	<p>それではごすね、自主防災組織の現状と言うことで若干ご説明申し上げます。花巻市内の自主防災組織の設立数というのは、10月末現在で122の行政区で創っております。これを全体が221行政区ですから、割合で言いますと55%組織の設立割合というふうになっております。振興センター管内別の設立状況ですけど、花巻市内の8行政区の行政区で100%という地区があるようでございます。では、東和ではどうなっておりますかという、現在3行政区で結成されておるようでございます。どこかといいますと、土沢第5行政区と谷内第2行政区と田瀬第1行政区の3つの行政区で、防災組織を結成されているようでございますし、現在準備中といいますか組織化を進めているというか手続き中というところが、4つの行政区があるようでございます。土沢第1の新地・百ノ沢地区、土沢第4の駅前・上町、土沢第9の六本木、それから谷内第1の町井・館迫ということで、谷内第1行政区さんの方では今月の27日に結成式を行うということでございますし、これらがすべて結成されれば、東和地域では30%の組織率になるという状況であります。今、市のほうでは自主防災組織の結成というのを誘導してございまして、ご存知のように10月の中旬に防災懇談会を開催いたしまして、いろいろ説明しながら結成の方向に誘導しております。自主防災の取り組み状況や問題点等、皆様からあればごすね、ご発言をいただきながらご協力いただければと思っております。以上でございます。</p>
小原会長	<p>切り出しとして、私どもの谷内第2行政区の谷内のところですが、ちょっとお話をしてみたいと思っておりますが、東和全体の話でということになります</p>

	<p>と、消防後援会という組織があるわけでございますし、それから婦人消防協力隊という組織がありまして、私のところでも立ち上げる時に、随分そのところで引っかかったんですよ。消防後援会と婦人消防協力隊との関係と、自分たちの自主防災組織の関係の、この三つがどのような役割をするのか、どういうふうに持っていけばいいのか、というのが非常に難解でございました。それらを包含したもう一つ上の組織ということで進めているところでございます。それから新しい組織を立ち上げますというと、役員が増えるんですね。同じ人の面構えでまた新しいのを一つ増やしたのかと、会を結成すると会費も増える。いろんなことで喧々囂々とやっておりました。まだ落ち着いてはおりません。次の懇談課題にもありますが、災害対応マニュアルということとか、自主防災組織の会議等が花巻市の方で主催しまして、もう少し早くやってもらえれば整理がついたかなという感じがしますが。ごちゃ混ぜになって交通整理するのに大変だなと感じております。あとは引きついでお話をしていただける方ございませんでしょうか。</p>
藤井委員	<p>実は浮田地区コミュニティ会議でも、自主防災組織を立ち上げようということで2年前からやっております、取りあえずマップ作製ということでこれはだいたい終わっております。（私の住んでいる）中内第3行政区では懇談会をスタートさせています。今まで2回やりました。最大のテーマはですね、3・11が3か月前の12月の大雪が降った時にあったらどうだったんだろうという、最悪のテーマを想定していろいろ懇談しようということでやっております。だいぶ話は煮詰まっております。それで消防団とタイアップしない限り、なかなか動きができないのじゃないか。市の災害対応マニュアルを見直しているということだったので、それを待って動いてもいいのかなということで、今ストップしています。もう一つは要援護者対策ですね。今年の11月行政の方から出ました地区別災害時要援護者登録状況によりますと、東和では全部で126人登録している。いざとなったときに要援護者が自分の行政区に何人いるか公表されていないと、みんなでどうしようかという議論にならないですよ。そこいらへんをどうするかということと、自主防災組織はいざとなった時、動かなければならないわけですから、行政区の役員がしょっちゅう変われば自主防災組織にならないのではないかと。これをどういうふうにするかで止まっております。最後にもう一回お話いたしますが、市の災害対応マニュアルを早く作っていただき早く公表していただきたい。そうすれば動くかなと思っております。</p>
多田課長	<p>市の災害対応マニュアルがいつできるのかという話がありましたが、防災懇談会の資料で説明いたしますと、見直し案の決定は3月ということで、1・2月の間に自主防災のリーダー研修会で見直し案の全体を提示して意見交換することになっています。2月になったならば花巻市の防災会議で地域防災計画の見直し案を協議して、3月に見直し案を決定する、というふうなスケジュールとなっております。それから先ほど要援護者をどうするかという話でございましたけど、この前の資料によりますと、自主防災組織が結成されている地域においては、災害時の要援護者については、民生委員さんが把握というか確認するという図表になってございます。市のほうでは班長さんが自治会の組織を通していろいろな情報収集をしたいという考え方を示し</p>

	<p>でございますが、いろいろご意見はあるかと思いますが、そんな形で民生委員さんが災害時に要援護者の安否確認等の情報を入手して、民生委員さんが班長さんに情報を伝達して、班長さんが会長・副会長へ連絡する。そういうふうな情報のルートを想定しておるようでございます。</p>
小原会長	<p>結成とか、結成準備中に該当される方おられませんか。お話をいただければありがたいんですが。</p>
(土沢)及川理事	<p>私は土沢第1行政区でございます。3月の震災の後の自治会の総会で、設立しようということだったのですが、総会をやりかねましたので、未決定になっております。でも難しいことをやろうということではなくて、まず安否確認を主体にしようと考えているだけでございまして、その後のことは設立してから進めていこうと思っております。</p>
(東和東部)薄衣事務局長	<p>谷内第1行政区ですが、先ほど課長さんのほうから話がありましたように、今月の27日に結成式をする予定で今進めております。先ほどからお話がありました要援護者の確認ですが、私の行政区の方では10数年前から、福祉コミュニティというものをつくっておまして、これには地域内の一人暮らしの高齢者世帯に自治会なり食改協なり民生委員さん方で、一人に対して二人ぐらいの見守り隊ということで張り付けております。これは、有事の際はもちろん安否確認ですし、通常の際には元気であるとか、お互いに負担にならない程度に見回りをしています。さらには昼間の一人暮らしや昼間の高齢者世帯というのにもかなりの世帯数になっているので、この方々についても見守りを付けております。そういう人たちは当然自治会長なりに安否の情報が来ます。私達のところに来た時点で、市の災害対策本部に伝えます。とてもじゃないですが、民生委員さん一人ではどうにもなりません。ちょっと皆さんとの見解の相違があるかもしれませんが、消防後援会と協力隊の関係ですけども、消防団は災害があればどこにでも駆けつけますけど、協力隊と後援会は自分の地域の中を守るためにいる方々ですので、当然自主防災組織の中に入っていいというふうに私個人は思っていますし、そういった人たちがむしろ中心になってがんばっていただきたいな、という考えで私は今進めております。</p>
小原会長	<p>はい、ありがとうございます。今お二方のお話をいただきましたけど、いろいろなご意見があろうかと思しますので、並んでいる順番に一言ずつよろしくをお願いします。</p>
浅沼委員	<p>小山田第2の浅沼です。今年の春の総会の時に、自主防災組織のことは考えるのかという発言がございましたけど、まず冬の間には何とか考えようということで進めております。我々みたいな田舎のところでは特別なことではなく、通信網が寸断された時の連絡体制の整備だけで済むのかなというふうに考えております。</p>
小原会長	<p>それでは藤根さんに土沢の地域づくり会議の代表ということで、よろしくをお願いします。</p>
(土沢)藤根副代表	<p>大震災前に公民館の総会だったと思いますが、要介護ということで班長さん以下にお示しいたしまして、それが機能したような気がします。というのは、東和支所でここに避難してくださいという連絡が入りましてですね、それで、隣近所の人たちが示した資料でもって動いていただきまして、非常に</p>

	<p>助かりました。もちろん会長、副会長そして民生委員さんも駆けずりまわって安否確認と避難場所をいうのですが、なかなか一人では避難できないとそれを隣近所の人たちが車を出したりして、東和支所に連れて行っていただきました。やはり早くそういう防災組織を作れば、安全・安心が自ずと地域に浸透するのかなという気がしています。</p>
(成島)小原会長	<p>自主防災組織につきましては、コミュニティ会議でいろいろ話してございますし、また過日防災懇談会が開催されまして、各行政区長さんに関心が見えてきているように感じておりまして、私の方からは特別、期限を決めてどうのこうのという立場でございませぬので、自主的なことをお願いしたいと思っております。先ほど市ではコミュニティ会議ごとに発電機や通信機等、24年度予算で何とか整備をしたいというお話がありました。それを有効活用することをコミュニティ会議としては考えなければならないということでもあります。</p>
(浮田)菊池副会長	<p>自分の地域、毒沢についてはまだ組織だったことはないわけですが、要援護のことにつきましては、見回りというか様子をうかがう人を張り付けております。また各班長さんには有事の際の安否の確認といひますか、そういったものを口頭でお願いしている程度でございませぬ。先ほど浮田のコミュニティの関係のお話がありましたけど、それらの計画に沿った組織を各行政区で参考にしながらそれを生かしながら組織することができると思ひます。まだコミュニティ会議全体の中でまとまっていないところもありますので、それらを見ながら行政区で対応していきたいと思っております。</p>
(田瀬)佐藤事務局長	<p>田瀬地区でございませぬけど、自主防災組織につきましては、小倉地区が自主防災組織にしてございませぬ。実際に立ち上げたばかりなので、実際に動いているかと言ひますと疑問でございませぬが、ただ大震災のとき、各地域で発電機がほしいという話でございませぬ3台とりつけました。小倉の自主防災に1台、中通・白土の消防屯所に一台ずつ配備をしたところではございませぬ。それと民生委員の方々でございませぬけど、やはり一人で見守って状況確認するのはとてもじゃないけどできないということですから、代わりに誰かいればなと話をししております、それが今後課題だと思っております。</p>
小原会長	<p>コミュニティ会議の方々からご意見をいただきましたので、協議会の皆様でございませぬ発言される方はいませぬでしょうか。</p>
藤井委員	<p>浮田コミュニティ会議では、万が一の時のために各家庭に協力要請をいたしまして、自家水道を持っている方々、湧水でも井戸水でもいいんですが、その水質検査をしようということでは、全部で40か所位申し込みがあつて、予算もかかりますので今年度中に10数か所の検査を終わろうと思ひます。あくまでもいざという時には、その水を地域に無償で配るということを条件にやっています。</p>
小原会長	<p>非常に貴重なご意見だつたと思ひます。</p>
平野委員	<p>自主防災組織は、今年のような何十年に一度の大震災が確かにおこると思ひますが、もう少し身近な災害を想定してつくることも必要かと思ひます。</p>
猿舘委員	<p>日中の一人暮らし高齢者世帯についても、見守りをつけているという話を聞いて、きめ細かいケアというのが必要なのだと思っております。お話を伺わせていただきました。</p>

菊池委員	田瀬ダムの決壊を心配している。避難場所となっている東和体育館や東和小学校が本当に安全なのかどうか。いざとなった時、どこに避難したら良いか。地域の人たちに周知しなければならないと感じました。
赤坂委員	先日、成島コミュニティ会議でダムを見学したとき、実際自分が目で見て感じたことは、これは大丈夫だと感じました。コミュニティそれぞれで見学したら良いかと思います。
小原会長	井戸水の水質検査についてご説明をお願いします。
(浮田)平野事務局員	今年度、浮田地区で27か所の検査を予定しております。現在12件目の検査が終わったところです（うち3件は飲み水に適さなかった）。検査料は8,280円でコミュニティから4千円補助しています。
小原会長	素晴らしい取り組みだというふうに感じております。

懇談課題 (3)災害対応マニュアルについて

小原会長	事務局長から災害対応マニュアルについて、概略をご説明願えたらと思います。
多田課長	これも、防災懇談会の方でいろいろ市のほうから説明があった話と重複いたしますが、振興センター単位でやってございますし、3・11大震災の経験を踏まえまして、より実効性のあるマニュアルを整備したいというのが、今回の見直しの背景のようでございます。特に新たにマニュアルを作りまして、このマニュアルに基づいて訓練を実施したいというふうな説明があったところがございます。6月に市のほうです。災害マニュアル策定委員会を立ち上げまして、現在作業をしながらあるいは皆様のご意見を伺いながらやってございまして、来月の12月の運用を目指していると聞いております。見直しの内容的なものですけど3つございます。まず1つ目は固定・携帯電話が不通となった場合に備えて、本庁、支所や振興センター等への情報の伝達手段として防災無線を導入したいというふうなことを検討しております。第2点目はですね、災害に対応に応じた避難場所を指定することについて協議しているということでございまして、この中では備蓄の見直しが3点目にございまして、拠点避難場所といいますか振興センター単位で発電機とか燃料とか食糧とかなど、一定のものを配備といいますか備蓄を検討したい。この3点が今回のマニュアル見直しの主な概要でございます。以上が災害対応マニュアル関係のお話ですのでよろしく願いいたします。先ほど3月の見直し云々というのはですね、地域防災計画のことでございまして、お詫びして訂正いたします。
小原会長	先日、振興センター単位で防災懇話会が開催されたわけですが、第一次避難場所は地域の公民館や自治会館で1～2日間で、最終的には市の指定する避難場所に来てくださいということだったと思います。その時私がふと思ったことは、冬になると毛布が必要だし、ごはんも水も必要だし、それをどういうふうにしたら良いかと思ったのですが、このへんは皆さんどういうふうにご考えていらっしゃるのでございますでしょうか。
多田課長	地域の公民館を一次避難所として1～2日頑張ってください、振興センターを拠点避難所として指定しまして、振興センターから毛布とか食糧を配布する支援を行うという案でございます。振興センターに毛布とか食糧は難しいでしょうけどカンパン等を備蓄いたしまして、一次避難所に対して支援す



	<p>るというような考え方でございます。避難期間が4～5日間になったらどうするかということですが、今の案では公民館から振興センターに移っていただいてそこで長期間過ごしてというふうな案でございます。そして、それ以上長期になりそうになった場合には、小学校とか中学校とかそちらの方へ移動してもらって長期の避難体制をとる、というのが現在の避難所の設定の考え方でございます。ただ私もこれを聞いて疑問に思ったことが、移動するといいますが、橋が落ちたらどうやって移動するのかとか様々な問題点があるかと思いますが、それはこれから個々の具体的な関係をこれから煮詰めるのではないかとこのように思っております。</p>
小原会長	<p>災害時行動マニュアル策定委員会を12月に開催するという事は、大体決まっていることなんですね。</p>
多田課長	<p>この説明会の資料が基本的な骨子となって、それで説明会を開いたのではないかと想定されます。だいたい形ができていないかと思いますが、また明らかになった段階で皆様にお示ししたいと思います。</p>
小原会長	<p>これにつきまして、ご意見やご提案ある方ございますでしょうか。</p>
藤井委員	<p>車いすを直接乗り降りできる車両を、総合支所単位で1台準備してほしい。こういった設備投資を市にお願いしたい。</p>
小原会長	<p>非常に重要なことだろうと思います。</p>

懇談課題 (4)高齢化に伴う地域づくりについて

小原会長	<p>(4)高齢化に伴う地域づくりについて懇談に入りたいと思います。これにつきましては、浅沼委員さんにご説明願えますでしょうか。</p>
浅沼委員	<p>高齢化に伴う地域づくりについて、提案したのは私でございます。今の時代にある身近な高齢化に伴う地域づくりについて、お話いただければ良いのかなと思ひまして提案させていただきました。自主防災組織から数々の大変貴重な意見が出まして、他では随分進んでいるんだなと思ひして感心していたところでございますが、現実かなり高齢化になって地域の役職も一部でしか回れないような現状になっているようでございます。したがって自治会の総会を開いても、年々出席率が悪くなってきているわけですね。班長さん自身が高齢者ということで、高齢者一人暮らしでも班長さんを務めてくれるような、私どもの行政区の現状でございます。部落的に高齢者率を見ると行政区で見ると限りなく40%に近づいているのかと。それらを支える皆さんの行政区ではどのように対応されているか、どのようなことを考えていったら良いか、皆様のご意見をお伺いして参考にしていきたい、と思ひて提案させていただきましたので、よろしくお願ひいたします。</p>
(成島)小原会長	<p>私のところのコミュニティ会議では、コミュニティセンターが旧成島小学校に移りまして、施設が充実しまして教室もいっぱいありますので、これを何とか利用しましょうということいろいろ検討しているんですが、高齢者を対象とした憩いの場を作りたいなということを考えております。世にいう「生き生きホーム」を開設しますと、9割以上が女性で男性はなかなかそれには参加していないというのが、町全体の現状でもございまして、女性を集めるのは苦労しないのかなと思ひております。問題は男性の方をどううまい餌をつければいいのかなと、そんなことを考えております。</p>
小原会長	<p>すばらしい憩いの場ができればと思います。</p>

(浮田)平野副会長	<p>中内第4行政区の平野でございます。私のところでも困っていることが、ここ10年間ぐらいで10戸ほどが空き家の状態になりました。高齢化も心配ですが、高齢者の方が亡くなると跡継ぎも亡くなりまして、空き家になっているということでございまして、防犯のことを心配しております。その個々の家庭は、跡取りがないということになりますと、相続の問題がありまして、その後が面倒になってきているということでございます。私どももなかなか苦戦しております。</p>
(東和東部)小原副会長	<p>谷内第3ですが、当地域でも班長役ができなくなっているのが状況です。できる人たちでやっていかなければならないのかなど。お互いに思いやりをもってやっていかないと地域づくりができないのかなど。特に今の若い人たちと言いますか、自分さえ良ければ他はなんじょでもいと、そういった考え方が見られるんじゃないかなど。どうしたらみんな一つになってやっていけるのか、というのが今後の課題ではないのかなどと思いました。</p>
(土沢)小川理事	<p>私たちの行政区では、高齢化の影響で班長をやる人がいなくなり、統合してほしいという要望があり、3年間で14班あったうち2班減ることになる予定で、まだまだ増えるのではないかと危惧しております。</p>
(土沢)藤根副代表	<p>土沢第4行政区の藤根でございます。今土沢地域の代表がですね、高齢化に向けての基本計画というのを作っております、それをこれから地域に示して確立していきたいという構想であります。それを今読み上げてですね、参考になればいいかなと思います。「生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる生涯現役の町を作ろう」「高齢者との普段からのコミュニケーションの促進を図る」「地域行事への高齢者の参加推進。参加無理な方は見学を促して隣近所を誘って見学する」「高齢者が参加できる行事の検討をする」「公衆トイレの改修、和式から様式にする、障害者用のトイレを設置を進める」「公民館を活用した趣味のサークルを作る」「公民館のふれあい公民サロン、高齢者による生涯現役青年ということで進めたい」「公民館を拠点として未病の運動を進める」という構想でございます。</p>
小原会長	<p>高齢者のためにいろんなことをやっている地域が東和にあります。ご紹介願えればと思います。谷内第一行政区区長の薄衣さんにご披露いたします。</p>
(東和東部)薄衣事務局長	<p>うちの方の行政区は、高齢者の皆さんに何とか地域に集まってもらって、お互いにお茶飲みする機会を設けたいということで、去年の6月に館迫と町井という集落があるので「たてまちサロン」というふうな名前でやりました。毎月1回高齢者の方にセンターに集っていただいて、お茶飲みをしたり好きなことをしたりということで集まってもらっていますが、1回当たり大体30名前後の方々が集まっております。たまには踊りを踊る人、手品をする人、それから市の生涯学習教育で講師派遣事業がありますので、そちらの方を利用させていただきまして、先月は太谷荘のリハビリの先生にお出でいただいて、マッサージをしてもらったりいろいろご指導いただいたりしてもらったり、そんなこんなで毎月1回センターに集ってお茶飲みをする会を開催しております。2年目になりますけども、来る方々もボランティアの皆さんも何となく落ち着いて、楽しみにして来るようになったという感じで、最近思っております。参加している方々は華の苑とかデイサー</p>

	<p>ビスにも行っているし、さらに地域のそういった集まりにも参加してくれるということが一つと、それからどこにも行きたくないけど、地域内の皆さんでお茶飲みするから出て行くかな、という人たちも結構おりますので、まあこの事業は何とかうまくいっているのかなあと最近思っています。もちろん、朝晩は門口から門口まで送り迎えはしております。これもすべてコミュニティ会議からの助成金で大半を賄っております。地域づくりにはならないかと思いますが、地域は一つの家族だというふうな考え方で、みんなで地域の高齢者を支えていきましょうということを合言葉にして、今やっているところでございます。</p>
小原会長	<p>指名をしてまで発表していただきたかったなあというのは、このことございまして、皆様に参加にいただければ非常にいいのかなと、こういうことだろうと思います。</p>
藤井委員	<p>老人クラブのことにつきまして、ご報告したりご相談したりしたいと思います。というのは、私花巻老人クラブ連合会東和支部の事務局長をしております、千人を越えていた老人クラブの会員が、現在は八百人を切りました。事務局長の立場でいうと、自主的に集まって自主的にやるというのが中心でやっています。東和地区全体のお互いの交流があって地域の活性化になっていくと思いますので、そういう面でもそれぞれの地域の方々についても、老人クラブについてぜひ考えて頂きたい、というふうに思います。</p>
小原会長	<p>ありがとうございました。</p>

懇談課題 (5)その他

小原会長	<p>こちらの方で特別用意してございません。皆様で今までお話が出なかったことについて、この機会にお話しておきたいということがありましたら、その他ということに入りますので、ご発言をお願いいたします。無いようですので時間でございまして、これで終了させていただきたいと思っております。本日はコミュニティ会議の方々多数参加いただきました。また地域協議会の委員の方々も出席いただき、いろんな意見や手法、いろんな考え方が出たところでございます。これらのことを踏まえながら、地域協議会でもどのようなことができるのかということ、考えるのにはいい分野を考えていきたいと思っておりますし、情報共有ということになりますと、非常に有意義だったと感じておるところでございます。この会議の運営につきまして、スムーズに進行できましたことに対し、感謝を申し上げて私からのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p>
------	--

6 閉会 (司会)